平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月29日

上場会社名　サンワテクノス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8137　URL　http://www.sunwa.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）山本　勢
問合せ先責任者（役職名）取締役管理本部長　（氏名）花山　一八　TEL 03-5202-4011
四半期報告書提出予定日　平成24年11月12日　配当支払開始予定日　平成24年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	40,635	△11.8	1,114	△39.7	1,203	△32.8	704	△36.3
24年3月期第2四半期	46,088	13.0	1,846	45.0	1,791	40.3	1,106	50.7

（注）包括利益　25年3月期第2四半期　517百万円　（△34.2%）　24年3月期第2四半期　786百万円　（83.4%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	55.02	—
24年3月期第2四半期	86.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	40,344	12,960	32.0	1,008.98
24年3月期	42,539	12,571	29.5	978.57

（参考）自己資本　25年3月期第2四半期　12,922百万円　24年3月期　12,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	10.00			
25年3月期（予想）			—	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想（平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	△4.1	2,400	△27.0	2,500	△26.5	1,500	△24.1	117.12

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	12,888,000 株	24年3月期	12,888,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	80,126 株	24年3月期	79,988 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	12,807,898 株	24年3月期2Q	12,808,222 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 当社は、平成24年11月5日（月）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

（参考）

平成 25 年3月期の個別業績予想(平成 24 年4月1日～平成 25 年3月 31 日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	70,000	△5.6	1,700	△30.4	1,900	△28.8	1,000	△31.2	78.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 ： 有

上記の業績予想には、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって記載の予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9
（７）重要な後発事象 …… 10
４．補足情報 …… 10
（１）生産、受注及び販売の状況 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における日本経済は、復興関連の内需がみられたものの、中国をはじめとする世界経済の減速等を背景に輸出が減少したことから、景気回復の動きは弱いものとなりました。また、長期化する欧州金融危機や円高が企業収益を下押しする懸念もあり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、中国向けをはじめとする輸出の減少等の影響により、特に半導体関連業界、産業機械業界は厳しい受注環境が続いており、市場は未だ厳しい状況にあります。

このような環境の中で当社グループは、新第７次中期経営計画（ＳＴＥＰ1000）の最終年度として、グローバルネットワークを活用した総合力を発揮し、成長市場への注力による業容の拡大、業務効率化による収益力の向上等の重点施策に取り組んでおりますが、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高は406億35百万円（前年同期比11.8％減）、営業利益11億14百万円（前年同期比39.7％減）、経常利益12億３百万円（前年同期比32.8％減）、当期純利益７億４百万円（前年同期比36.3％減）となり、前年同期を下回る結果となりました。

部門別の業績は次のとおりであります。

［電機部門］

電機部門では、新エネルギー関連の需要は増加傾向で推移しており、太陽光発電システム向けの制御機器等の販売が増加いたしました。一方で、有機ＥＬ生産設備の需要減少により、好調だった前期に比べて真空ロボットの販売が減少いたしました。また、半導体関連業界及び中国市場の低迷により、半導体製造関連装置向けのクリーンロボットの販売や産業機械業界向けのモータ等電機品の販売が減少いたしました。この結果、当部門の売上高は94億27百万円（前年同期比26.1％減）となりました。

［電子部門］

電子部門では、携帯電話基地局のインフラ設備増大による電子部品の販売が増加いたしましたが、中国市場低迷の影響を受け、インバータ、サーボモータ、ロボット制御装置向けの電子部品の販売は減少いたしました。この結果、当部門の売上高は280億17百万円（前年同期比5.3％減）となりました。

［機械部門］

機械部門では、リチウムイオン電池生産設備等の販売が増加いたしましたが、一般設備投資の低迷などにより設備機器の販売は減少いたしました。この結果、当部門の売上高は31億90百万円（前年同期比14.7％減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①　日本

国内は、成長市場である新エネルギーの分野における太陽光発電システム向けの制御機器及びリチウムイオン電池生産設備等の販売が増加いたしましたが、中国市場減速による設備投資の減少等の影響を受け、モータ、ロボット、一般電子部品、設備機器等の販売が減少いたしました。この結果、売上高300億90百万円（前年同期比15.4％減）、営業利益７億91百万円（前年同期比40.8％減）となりました。

②　アジア

アジア地域では、スマートフォン製造設備向けの電子部品の販売は増加いたしましたが、中国経済の減速による影響から産業機械業界向けの電機品及び電子部品の販売は減少いたしました。この結果、売上高85億24百万円（前年同期比1.2％減）、営業利益３億21百万円（前年同期比12.7％減）となりました。

③　欧米

米国景気は緩やかに回復している一方で、欧州景気は依然低調に推移しております。米国では、電力インフラ向けの制御機器の販売や工作機械業界向けの電機品等の販売が増加いたしましたが、欧州では有機ＥＬ製造装置向けの設備機器の販売が計画変更等により減少いたしました。この結果、売上高11億46百万円（前年同期比21.4％増）、営業損失４百万円（前年同期は営業利益１億円）となりました。

④　その他

外部顧客に対する売上高は８億74百万円（前年同期比9.4％減）、営業損失６百万円（前年同期は営業利益33百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は、403億44百万円となり前連結会計年度末に比べ21億95百万円減少しました。受取手形及び売掛金の減少がその主な要因であります。

当第２四半期連結会計期間末の負債合計は、273億83百万円となり前連結会計年度末に比べ25億84百万円減少しました。支払手形及び買掛金の減少が主な要因であります。

当第２四半期連結会計期間末の純資産合計は、129億60百万円となり前連結会計年度末に比べ３億89百万円増加しました。利益剰余金の増加が主な要因であります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ12億46百万円増加し、当第２四半期連結会計期間末には49億33百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は14億33百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益（11億37百万円）、売上債権の減少（33億３百万円）等による増加がある一方で、仕入債務の減少（25億48百万円）、法人税等の支払（６億20百万円）等により一部減少したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は42百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出（22百万円）、投資有価証券の取得による支出（15百万円）等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は１億61百万円となりました。これは主に、配当金の支払（１億28百万円）等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済の見通しは、復興需要を背景に一部に回復傾向がみられるものの、長期化する欧州金融危機や円高が企業収益を下押しする懸念もあり、依然厳しい経営環境が予想されます。当社業績もその影響を避けられず、当初計画を下回る水準で推移していることから、平成24年７月27日発表の連結及び個別の通期業績予想を修正いたしました。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,171	5,417
受取手形及び売掛金	27,094	23,850
商品及び製品	3,868	3,656
仕掛品	90	159
原材料及び貯蔵品	1	0
その他	589	651
貸倒引当金	△74	△65
流動資産合計	35,741	33,671
固定資産		
有形固定資産	3,808	3,977
無形固定資産		
その他	44	36
無形固定資産合計	44	36
投資その他の資産	2,945	2,658
固定資産合計	6,798	6,672
資産合計	42,539	40,344
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,132	19,649
短期借入金	1,726	1,703
1年内返済予定の長期借入金	1,200	1,800
未払法人税等	666	479
引当金	－	28
その他	1,189	1,091
流動負債合計	26,914	24,752
固定負債		
長期借入金	1,800	1,200
退職給付引当金	628	645
役員退職慰労引当金	558	582
その他	65	202
固定負債合計	3,053	2,630
負債合計	29,968	27,383

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,935	1,935
資本剰余金	1,341	1,341
利益剰余金	9,173	9,750
自己株式	△53	△53
株主資本合計	12,396	12,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	438	218
為替換算調整勘定	△301	△268
その他の包括利益累計額合計	137	△50
少数株主持分	37	38
純資産合計	12,571	12,960
負債純資産合計	42,539	40,344

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	46,088	40,635
売上原価	40,014	35,359
売上総利益	6,073	5,275
販売費及び一般管理費	4,226	4,161
営業利益	1,846	1,114
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	20	23
仕入割引	47	37
受取家賃	56	56
その他	47	56
営業外収益合計	173	176
営業外費用		
支払利息	31	27
手形売却損	5	0
売上債権売却損	27	20
為替差損	160	30
その他	5	7
営業外費用合計	229	86
経常利益	1,791	1,203
特別損失		
投資有価証券評価損	－	65
特別損失合計	－	65
税金等調整前四半期純利益	1,791	1,137
法人税等	682	432
少数株主損益調整前四半期純利益	1,108	704
少数株主利益	2	0
四半期純利益	1,106	704

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,108	704
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△352	△220
為替換算調整勘定	30	33
その他の包括利益合計	△322	△187
四半期包括利益	786	517
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	783	517
少数株主に係る四半期包括利益	2	0

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,791	1,137
減価償却費	75	82
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1	△8
受取利息及び受取配当金	△22	△25
支払利息	31	27
為替差損益（△は益）	△42	△27
投資有価証券評価損益（△は益）	－	65
売上債権の増減額（△は増加）	△949	3,303
たな卸資産の増減額（△は増加）	△600	169
仕入債務の増減額（△は減少）	1,186	△2,548
その他	304	△119
小計	1,772	2,056
利息及び配当金の受取額	22	25
利息の支払額	△31	△27
法人税等の支払額	△1,079	△620
営業活動によるキャッシュ・フロー	683	1,433
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7	△22
投資有価証券の取得による支出	△64	△15
その他	12	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△188	0
リース債務の返済による支出	△24	△34
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△128	△128
財務活動によるキャッシュ・フロー	△341	△161
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	18
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	310	1,246
現金及び現金同等物の期首残高	3,126	3,687
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,437	4,933

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	35,553	8,625	944	45,123	964	46,088	－	46,088
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,861	773	790	4,425	482	4,907	△4,907	－
計	38,415	9,399	1,734	49,549	1,447	50,996	△4,907	46,088
セグメント利益	1,337	368	100	1,806	33	1,839	7	1,846

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額７百万円には、セグメント間取引消去８百万円及び棚卸資産の調整額△１百万円が含まれております。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	30,090	8,524	1,146	39,761	874	40,635	－	40,635
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,640	934	260	3,835	467	4,303	△4,303	－
計	32,731	9,458	1,406	43,596	1,341	44,938	△4,303	40,635
セグメント利益又は損失（△）	791	321	△4	1,109	△6	1,102	11	1,114

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。
２．セグメント利益又は損失（△）の調整額11百万円には、セグメント間取引消去９百万円及び棚卸資産の調整額２百万円が含まれております。
３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（７）重要な後発事象
該当事項はありません。

４．補足情報

（１）生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第２四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	前年同期比（%）
その他（百万円）	379	89.7
合計（百万円）	379	89.7

（注）１．金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。
２．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②商品仕入実績

当第２四半期連結累計期間の商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	前年同期比（%）
日本（百万円）	27,115	83.4
アジア（百万円）	6,549	101.3
欧米（百万円）	675	93.0
報告セグメント計（百万円）	34,340	86.5
その他（百万円）	875	94.9
合計（百万円）	35,215	86.7

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③受注状況

当第２四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 （百万円）	前年同期比（%）	受注残高 （百万円）	前年同期比（%）
日本	29,994	81.0	8,069	65.3
アジア	9,157	92.0	4,149	87.9
欧米	1,431	113.7	792	111.6
報告セグメント計	40,583	84.1	13,011	73.1
その他	845	78.5	471	129.9
合計	41,429	84.0	13,482	74.3

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

④販売実績

当第２四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	前年同期比（%）
日本（百万円）	30,090	84.6
アジア（百万円）	8,524	98.8
欧米（百万円）	1,146	121.4
報告セグメント計（百万円）	39,761	88.1
その他（百万円）	874	90.6
合計（百万円）	40,635	88.2

（注）１．セグメント間の取引については相殺消去しております。

２．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。